

「2017年度 特定研究助成」申込の留意事項

申込に際しては募集要領およびFAQを熟読のうえ、下記留意事項に従ってお申込みください。応募用紙はダウンロードしてお使いください。

1. 応募用紙は「2017年度特定研究助成申込書」、「研究要旨」、「助成申請金額および使途計画」および「被助成歴」の4様式から成っております。各項目に従って記入ください。

(1) 応募機関・住所・郵便番号・氏名・部科・職位・電話番号・E-mailについては、連絡をさせていただく必要上、正確に記入ください。

(2) 「研究要旨 No. 5～No. 6」に代表申請者の論文リスト（15件以内）および共同研究者の論文リスト（各3件以内）、リスト記載時の留意事項①全著者名を記載する②代表申請者名および共同研究者名には下線を引く③雑誌名はゴシック体で記載する）を記載し、代表申請者の論文（2編までに限る）を添付ください。書ききれない場合は「研究要旨 No. 7」を利用ください。

(3) 各用紙に氏名欄が有りますので、記入漏れのないようにお願いします。

2. 電子申請する場合は財団ホームページから申請ください。申込書は入力により自動作成されるため申込書の添付は不要です。研究要旨および論文はPDFで添付ください。なお、押印は不要です。

3. 応募締切：2017年4月4日（火）24時まで受付

4. 助成金をお受けになった代表申請者には、後に下記のことをお願いしますので、その旨お含みのうえ応募ください。

(1) 研究経過（2019年5月末）、研究結果（2020年5月末）の報告をお願いします。

研究経過報告については経過概要を原稿用紙3～4枚程度にお纏めのうえ報告ください。

研究結果報告については研究途中の場合は経過概要を原稿用紙3～4枚程度にお纏めのうえ報告ください。研究終了後に改めて論文または研究結果の報告をお願いします。

研究結果を論文発表された場合には別冊またはコピーを一部当財団宛に送付ください（研究結果報告の代替とします）。報告いただいた論文は助成対象者公表文献一覧表として財団ホームページに掲載します。

論文発表されない場合は研究結果を原稿用紙3～4枚程度にお纏めのうえ報告ください。

(2) 研究の発表に際しては、当財団からの助成を受けた旨の記載をお願いします。

（財団英文名：Takeda Science Foundation）

6. 助成金は、対象研究に直接関係ある費用に限って使用ください。当財団は施設への助成金（寄附金）申込時に間接経費（いわゆるオーバーヘッド）の免除の願いをしております。また、助成金は施設での受入および管理を原則としております。なお、使

用期限は特に定めておりません。

2020年5月末までに収支報告書（様式は自由）を提出願うこととしております。

研究途中の場合は2020年3月末時点での収支報告書を中間報告として提出ください。

研究終了時に改めて収支報告書の提出をお願いします。

7. 助成金は、2017年度中に代表申請者に一括贈呈します。

8. 2014、2015、2016年度に本助成を受けられた下記の機関の応募はできません。

医薬基盤研究所、愛媛大学、大阪府立母子保健総合医療センター、岡山大学、お茶の水女子大学、鹿児島大学、関西医科大学、北里大学、京都産業大学、京都大学、九州大学、熊本大学、慶應義塾大学、神戸大学、国立循環器病研究センター、埼玉大学、産業技術総合研究所、自治医科大学、順天堂大学、先端医療振興財団、中部大学、筑波大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、東京大学、東京薬科大学、東北大学、徳島大学、長崎大学、名古屋大学、奈良先端科学技術大学院大学、新潟大学、浜松医科大学、広島大学、宮崎大学、理化学研究所、琉球大学

9. 応募内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しませんが、提出いただいた書類は返却しません。また、助成対象者に関する情報（氏名、所属、研究課題、金額）は、一般公開しますので、予め了承ください。

以 上